

平成27年における農作物等の被害状況等について

1 平成27年の主な自然災害等による農作物等被害について

水稲では、8月の台風15号による強風の影響で、新潟県を中心に稲穂が吹き飛んだり脱粒するなどの被害が発生した。また、9月の台風18号に伴う、関東・東北豪雨により、特に河川が氾濫した周辺地域においては、収穫直前の水稲が長期間水没するなどで品質が低下したり、水田への瓦礫等流入により、収穫が不可能となるなど甚大な被害が発生した。

なお、10月15日現在の水稲作況指数は全国で「100」となっている。(10月30日、農林水産省大臣官房統計部公表)。

家畜では、9月の関東・東北豪雨により、茨城県及び栃木県で畜舎倒壊等による死傷事故が発生したが、全体では、死傷事故及び病傷事故の発生状況は例年並みとなっている。

果樹では、3月～4月の天候不順・低温により、なし、うめ等で凍霜害、結実不良の被害が発生している他、5月以降の天候不順により、山梨（ぶどう、もも）、長野（ぶどう）、和歌山（もも）他で着色不良、裂果等の被害が生じている。また、8月下旬の台風15号により、九州を中心になし・くりの落果被害が、10月の台風21号、23号により東日本を中心になし、りんご等に落果・傷果被害が生じている。

畑作物では、台風による大雨・強風の影響で、東北、関東及び九州北部を中心に大豆について、冠水による流失・茎葉の損傷等の被害が発生したものの、その他の地域については、現在のところ大きな被害の報告は受けていない。

園芸施設では、8月に台風15号により九州地方を中心に、9月に台風18号により関東地方を中心に、特定園芸施設等において風害、風水害等の被害が生じたほか、低気圧による風害の被害等が発生した。なお、今後、冬季の雪害の状況等を注視していく必要がある。

(参考)平成27年に発生した主な災害

災害名	主な被害地域
冬期の降雪等 (平成26年12月～27年2月)	愛媛県、秋田県、岐阜県、島根県、山形県ほか
台風第11号 (平成27年7月)	徳島県、香川県、三重県、岡山県、愛媛県ほか
台風第15号 (平成27年8月)	熊本県、鹿児島県、福岡県、沖縄県、佐賀県ほか
関東・東北豪雨（台風第18号等 による大雨） (平成27年9月)	茨城県、栃木県、宮城県、福島県、千葉県ほか

資料：農林水産省災害関連情報をもとに作成。

2 過去10年の共済金支払額

(単位:億円)

年産(度)	農作物	果樹	畑作物	園芸施設	家畜	合計	(水稲作況)
17	103	33	28	38	637	840	101
18	296	51	67	37	640	1,090	96
19	95	39	42	27	634	836	99
20	58	31	32	21	631	772	102
21	277	43	99	34	605	1,058	98
22	300	48	176	32	601	1,148	98
23	233	32	156	30	570	1,022	101
24	126	33	82	37	557	834	102
25	144	41	108	92	540	924	102
26(速報)	93	27	64	21	529	733	101

資料：農林水産省経営局「農作物共済統計表など農業共済統計表」、農林水産省統計部「作物統計」

※農作物、果樹及び畑作物は年産、園芸施設及び家畜は年度。